

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	1,920	宅地造成規制区域標識の設置費
合計	1,920	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 後年度の財政負担

破損・倒壊等により機能を失ったものについては順次更新を行う。

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
破損・倒壊等により機能を失った標識について順次更新を実施

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

規制区域の周知のための標識設置事業であるため。

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
老朽化等により判読が困難となった標識等16カ所（平成30年度）を更新した。

（前年度の成果）

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
機能を喪失した標識の更新を行うことにより、宅地造成工事規制区域であることを周知し、宅地造成工事に許可が必要なことを広く周知することが可能となる。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	宅地造成工事規制区域は、宅地造成により災害の生ずる恐れが著しい地域を指定しており、当該地域であることを広く周知する必要がある。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	現在、300か所程度に標識を設置しており、周知が図られている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	規制区域の図示化・道路沿道への設置等、わかりやすい周知に努めている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 経年劣化により機能を喪失するものが発生しており計画的な更新が必要。標識としての機能を維持できるよう計画的な更新を実施する。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 標識としての機能を維持できるよう計画的な更新を実施する。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	